

授業科目(ナンバリング)		保健体育科教育法Ⅱ (BQ223)		担当教員 担当形態		宮良 俊行・元嶋菜美香・※田井 健太郎 複数・オムニバス			
教員免許状取得のための選択の別	①保健体育(中)：必修 ②保健体育(高)：選択	単位数	2単位	開講年次	2年	展開方法	講義	開設時期	前期
科目	教職に関する科目(教育課程及び指導法に関する科目)								
各科目に含めることが必要な事項	各教科の指導法								
授業のねらい									アクティブラーニングの類型
学校教育における保健体育科の位置づけを理解した上で、学習指導要領における保健分野の学習内容、学習指導に関する基本的事項を理解し、教育現場における学習指導計画の作成や学習指導および学習評価等の基礎的知識を身に付ける。									⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法		評価比率	
専門力	保健体育科教員として教育に対する使命感や情熱を持ち、常に学び、成長しようとする姿勢が身に付いている。					・受講者の授業態度、授業への参加度		10%	
情報収集、分析力									
コミュニケーション力	板書、話し方、表情など授業を行う上での基本的な表現力を身に付け、実践することができる。					・受講者の発表		10%	
協働・課題解決力	保健体育科教員として必要な専門知識を理解し、それらがなぜ重要なのかを説明することができる。					・授業内テスト ・定期試験		50% 30%	
多様性理解力									
出席						受験要件			
合計						100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明									
授業中の態度および参加度(評価比率 10%)、発表等授業への積極的な取り組みも評価として加点し(評価比率 10%)、授業内テストを実施し評価の対象とする。(評価比率 50%)、定期試験(評価比率 30%)により、総合的に評価する。また、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。									
授業の概要									
<p><保健分野></p> <p>生徒の現状と問題点を理解し、変化の激しい現代の健康問題を踏まえた保健授業の指導案作成や指導方法を考える。身体的観点だけでなく心理的健康も含め、その原理・原則を理解し、教師として保健科の授業で実践することのできる対策についての内容や方法を修得する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>									
教科書・参考書									
<p>教科書：「保健体育科教育法」杉山重利、高橋健夫、園山和夫編著(大修館書店)</p> <p>教科書：「最新 スポーツルール」大修館書店編集部編(大修館書店)</p> <p>教科書：「教員採用試験 ステップアップ問題集 中学高校保健体育」東京アカデミー編</p> <p>指定図書：文部科学省『中学校学習指導要領』、文部科学省『中学校学習指導要領解説 保健体育編』、文部科学省『高等学校学習指導要領』、文部科学省『高等学校学習指導要領解説 保健体育編』</p>									
授業外における学修及び学生に期待すること									
<p>授業資料、学習指導要領、学習指導要領解説をもとに、授業実践への想像力をはたらかせて聴講すること。</p> <p>保健体育科教員を強く希望する学生に参加して欲しい。各自が教員として必要な知識や指導能力を獲得することを意識し、聴講すること。</p> <p>無断欠席、遅刻などは原則認めない。無断欠席、遅刻をしないなど、教員志望学生としての自覚を持ち行動すること。</p>									

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	保健体育科の位置づけ	授業オリエンテーション (宮良・元嶋・田井)	予習：学習指導要領【目標】を読む 復習：【体の発育】に関する指導案を作成する
2	保健体育科の位置づけ	教育基本法、学校教育法、学習指導要領の関係性と位置づけおよび情報機器及び教材を用いた授業展開について (元嶋)	予習：教育基本法、学校教育法について調べる 復習：【保健体育科の位置づけ】について復習
3	保健分野の授業 1	(1)「心身の機能の発達と心の健康」(元嶋)	予習：学習指導要領【心身の機能の発達と心の健康】を読む 復習：【心身の機能の発達と心の健康】について教材研究
4	保健分野の授業 2	(2)「環境と健康」(元嶋)	予習：学習指導要領【環境と健康】を読む 復習：【環境と健康】について教材研究
5	教材研究 1「身体機能の発達と心の健康」	(1)「心身の機能の発達と心の健康」について教材研究 (宮良)	予習：【心身の機能の発達と心の健康】に関する教材研究
6	教材研究 2「環境と健康」	(2)「環境と健康」について教材研究 (宮良)	予習：【環境と健康】に関する教材研究
7	模擬授業、評価の観点 1	(1)「心身の機能の発達と心の健康」について模擬授業を行う、相互評価を行う (宮良・元嶋・田井)	予習：【心身の機能の発達と心の健康】に関する指導案を作成する 復習：指導案を修正する
8	模擬授業、評価の観点 2	(2)「環境と健康」について模擬授業を行う、相互評価を行う (宮良・元嶋・田井)	予習：【環境と健康】に関する指導案を作成する 復習：指導案を修正する
9	保健分野前半のまとめ・理解度確認	保健分野前半のまとめと理解度確認テストの実施 (宮良・元嶋・田井)	試験範囲の予習・試験後の復習
10	保健分野の授業 3	(3)「傷害の予防」(元嶋)	予習：学習指導要領【傷害の予防】を読む 復習：【傷害の予防】について教材研究
11	保健分野の授業 4	(4)「健康な生活と疾病の予防」(元嶋)	予習：学習指導要領【健康な生活と疾病の予防】を読む 復習：【健康な生活と疾病の予防】教材研究
12	教材研究 3「傷害の予防」	(3)「傷害の予防」について教材研究 (宮良)	予習：【傷害の予防】に関する教材研究
13	教材研究 4「健康な生活と疾病の予防」	(4)「健康な生活と疾病の予防」について教材研究 (宮良)	予習：【健康な生活と疾病の予防】に関する教材研究
14	模擬授業、評価の観点 3	(3)「傷害の予防について模擬授業を行う、相互評価を行う (宮良・元嶋・田井)	予習：【傷害の予防】に関する指導案を作成する 復習：指導案を修正する
15	模擬授業、評価の観点 4	(4)「健康な生活と疾病の予防」について模擬授業を行う、相互評価を行う (宮良・元嶋・田井)	予習：【健康な生活と疾病の予防】に関する指導案を作成する 復習：指導案を修正する
16	定期試験	筆記試験	試験勉強および対策